

ジミー大西

画家・ジミー大西の
創作活動の真相に迫る
大規模原画展

ホームタウン 高知展



2026

7.24 Fri

→ 9.6 Sun

※会期中は休館なし

高知県立美術館

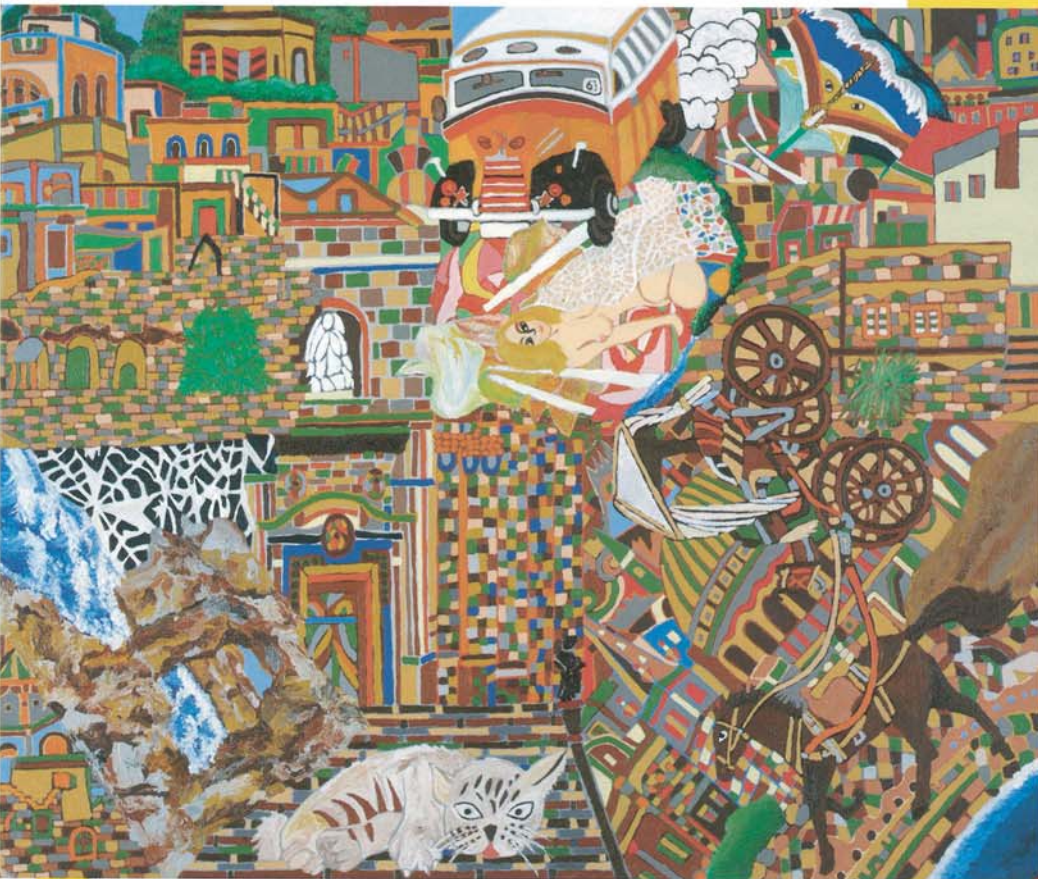
1階 展示室D (高知市高須353-2)

9:00~17:00 (最終入場は16:30)

観覧料

[当日] 一般:1,400円/大学・高校・中学:800円/小学生~4歳:600円
[前売り] 一般:1,200円/大学・高校・中学:700円/小学生~4歳:500円

その場所に、じぶんがずーっと住んでるつもりになって、絵を描くんです。



画家・ジミー大西(1964年-)の作品に影響をあたえる「場所」に焦点をあて、それぞれの場所で経験したエピソードや心境を原画とともに紹介する、ジミーの創作活動の真相に迫る大規模展覧会。

1992年にTV番組の企画をきっかけに本格的に絵を描き始めたジミー大西。同時期に、憧れの芸術家・岡本太郎氏から「四角い枠を気にせず、キャンバスからハミ出しちゃえばいいんだ」という言葉をもらい、本気で画家を志します。画家・ジミー大西がはじめにとった行動は、お笑い芸人を辞めてスペインへ移住することでした。スペインに住んでからのジミーの創作スタイルはそれまでと大きく変化し、その変化は実際に描いた作品からも見るができます。その後も世界各地を放浪し、様々な街やそこで出会った人・物・動物などに影響を受けた多彩な作品を残してきたジミーは、2022年から2023年にかけて開催した画業30年記念の個展「POP OUT」でも国内10都市を巡りながら、作品を描きました。会期中はジミー本人も高知に長期滞在し、お客様や地域の人たちと関わりながら、高知を自分自身の故郷「ホームタウン」として生活します。



ジミー大西 Jimmy Onishi

天然キャラクターから繰り出される衝撃的な笑いを武器に数多くの番組で活躍中。数々の天然エピソードも有名で、一発ギャグも多くもお笑い芸人。読売テレビの企画「ジミー大西 画壇にデビュー」で絵画を発表し、著名芸術家や専門家からも評価を得る。1993年に初の個展を開き、本格的に画家としての活動を開始。

ジミー大西が 高知県に 長期滞在!

高知をテーマにした新作を展示!

- ★ 高知をモチーフとした新作を展示!
- ★ サイン会などの参加型イベント開催!
- ★ 会場で買えるオリジナルグッズも!



トランプ

マスクングテープ

※グッズの一部を抜粋

<観覧料> (税込)

[当日] 一般:1,400円/大学・高校・中学:800円/小学生~4歳:600円

[前売り] 一般:1,200円/大学・高校・中学:700円/小学生~4歳:500円

※3歳以下、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳および被爆者健康手帳をお持ちの方とその介護者1名の方は無料。

※20名以上は団体料金として前売りと同じ観覧料。年間観覧券所持者は前売りと同じ観覧料。

<前売券販売所>

県立美術館ミュージアムショップ、金高堂書店本店、こうち生活協同組合(コープよしだ、コープかもべ)、県庁生協売店、ローソンチケット(Lコード:66035)

※5/18(月)午前10時よりローソンチケットにて前売券販売開始

※その他のプレイガイドは5月中旬より順次販売開始予定

<お問い合わせ> 高知放送視聴者センター 088-825-4240(平日10:00~17:00)